

新入生代表として誓いの言葉を述べる遠藤さん



33人期待を胸に

星槎高入学式

通信制の星槎国際高校帯広キャンパス（森実さとみキャンパス長、生徒93人）の入学式が20日、帯広信用金庫中央支店セミナールームで開かれた。転入を含め33人が、期待と緊張を胸に式に臨んだ。

同校本部校（芦別市）の佐藤尚正校長が「自らの意思で選んだ星槎で、心の進

化を求めて学校生活を送ってほしい」と式辞。米沢則寿帯広市長代理で市政政策推進部の池原佳一政策室長、ザ・本屋さんの高橋智信副社長が祝辞を述べた。

在校生を代表して越坂効市君（2年）が「星槎は悩んでいる人の心に温かさを感じさせてくれる場所。安心して」と歓迎。新入生の遠藤真南さん（1年）が「星槎の生徒としての誇りを持ち、その名に恥じぬよう実りのある学校生活を送ります」と誓った。

今年5周年を迎えた同キャンパスでは、悩みや発達に不安を抱える子供たちが自立に向けて学習している。必修と選択を組み合わせ、自分のペースに合わせた登校日数を自由に選べる。

（廣嶋桂）